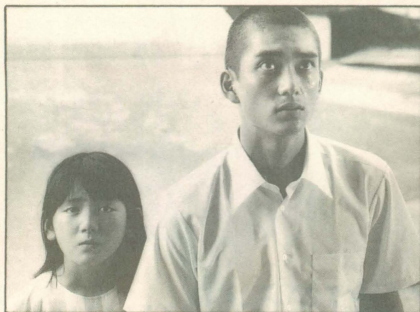


追憶のざわめき

松井良彦 監督作品

きょうは 何をして遊ぼうか.....

出演／佐野和宏・仲井まみ子・村田友紀子・隈井士門
製作／安岡卓治 製作補／山本希平
演出補／佐々木宏 録音／浦田和治
編集／高島健一 音楽／菅沼重雄
音響効果／本間明 特殊メイク／松井祐一
スチール／浅田トモシゲ 撮影／手塚義治・村川聡・井川義之
協力／白藤茜・日本維新派・白虎社
欲望プロダクション第二回作品



解説

「追悼のざわめき」は、85年完成し、同年トリノ国際映画祭に出品を予定されながら、イタリア税関でストップ。更に、86年、香港での日本映画祭に招待されながら、同じく香港税関でストップ。税関での試写を担当した映写技師が嘔吐するという「事件」まで引き起こしている。だからといって、スプラッターでも、オカルトでもないところが、この映画の凄さだ。監督の松井良彦は、寡作ながら、「危ない映画」を作ることのできる日本では唯一の作家だと断言できる。パゾリーニを父と仰ぎ、ベルトリッチがもつ継父の面影を敬慕し、デビット・リンチ、寺山修司を義兄として畏怖する松井良彦は、60年代映画の匂いをブンブンとさせるアナクロ（時代錯誤的）作家と言えるかもしれない。でも、アナクロも「レトロ」と言い換えられる昨今、実は、究極のナウである。思い返せば、難解映画を究めた実相寺昭雄や松本俊夫が、今、脚光を浴びているのも納得できる。オカルトではないと言いながら、「追悼のざわめき」の周辺には、死者の影が付きまといている。寺山修司をはじめ、老人役を演じた京都の作家高瀬泰司、暴漢を演じた山際光が作品の完成を待たずして、亡くなり、スタッフやその関係者にも、撮影後、事故や、病災が相次いで降りかかっている。実に忌まわしい映画。実に危ない映画。あるひとは、「これは映画ではない。」と叫び、また、あるひとは、「そのおぞましさは、映画の常識を逸脱している。」とのしり、また、あるひとは、「この映画を見たことを不幸に思う」と囁く……。また、「これこそファンタジーだ！」「サウンドなきロックンロールシネマだ！」といった、製作者をとまどわせるような反応があったことも事実だ。

耐えがたければ、目をふせろ！ 席を立て！

「追悼のざわめき」は、スーパーハードな、

極限のラブストーリーなのだ。

追悼のざわめき 魂のインモラル ファンタジー

【監督・脚本】松井良彦
【撮影】手塚義治
村川 聡
井川義之
【照明】大坂章夫
浅田トモシゲ
四井浩一
【録音】浦田和治
【音響効果】本間 明
【音楽】菅沼重雄
【編集】高島健一
緒方達也
【録音】鐘門律知
佐々木宏
【スチール】浅田トモシゲ
【特殊メイク】松井祐一
【製作補】山本希平
【演出補】佐々木宏
【製作】安岡卓治

キャスト

【誠】佐野和宏
【兄と妹】隈井士門
村田友紀子
【ルンペン】大須賀勇（白虎社）
【夏子の兄】日野利彦（人力飛行機舎）
【傷夷軍人】白藤 茜
皆渡静男
【玄五郎義】高瀬泰司
松本雄吉（声）
【女子高校生】片山由希／寺本由貴子（声）
上西ユリ子／米本郁美（声）
（四方館）
【夏子】仲井まみ子

物語は、一人の孤独な青年のさすらいから始まる。彼は、マネキンを菜穂子と名付け、「彼女」を愛し「愛の結晶」が誕生することを夢想しはじめる。彼は、次々に若い女性を惨殺し、その肉片を「菜穂子」に埋め込む。「菜穂子」に、不思議な生命感が宿りはじめ、様々な人間が、そのペントハウスに引き込まれてゆく。現実の街並みは、いつか時代感覚を失い、傷夷軍人やルンペンなど、敗戦直後を思わせるグロテスクなキャラクターが、彷徨しはじめる。時代からも、現実からも、解き放たれた、美しい少年少女が、ペントハウスに導かれてゆく。遊びは、ケンパしか知らない。少女が菜穂子に「母」を感じ陶醉したとき、残酷な運命が二人を引き裂いてゆく……

【松井良彦】1956年、兵庫県西宮生まれ。75年、石井聰互監督らの「狂映舎」に参加。「狂い咲きサンダーロード」などの作品の編集助手、助監督として参加。石井聰互、沢田幸弘共同監督作品「高校生大パニック」での助監督仲間、に那須博之氏、金子修介氏らがいる。79年、「錆びた缶空」を監督。撮影は石井聰互氏が担当。81年、「豚鶏心中」を監督。撮影は、「ゆきゆきて神軍」の原一男監督が担当。「天井桟敷館」での長期ロードショーをきっかけに、寺山修司氏と出会う。83年「追悼のざわめき」クランクイン直前、最大の助言者、寺山修司氏を失う。

1988年度作品 モノクロ スタンド
上映時間2時間30分

10月9日（日） 熱烈アンコール
より ロードショー

特別御鑑賞券1,200円絶賛発売中（当日 一般1,500円
学生1,300円）

連日 10:50 1:30 4:10 6:50

KINEMATOGRAPH
中野武蔵野ホール
〒164東京都中野区中野60-11
TEL 03(389)3301

中野駅北口サンモール街「ストック」右入る

欲望プロダクション

★スタッフ募集★

詳しくはTEL.03(413)8603

安岡まで